



## 国土交通省

### 二〇一一年度予算概算要求

#### 交通基本法制定見据え

#### 地域生活交通関連事業

#### 相談役 江頭 博幸

筆者は、二〇〇九年五月に、長崎県平戸市に移住しました。平戸市は人口二万三〇〇〇人の過疎の進んだ町です。市政は、敷いていますが、全国ブランドの大型小売店舗は一軒もありません。

**車を運転しなければ**  
平戸市で目立つのが、高齢者マークの車が多いことです。二〇%位が高齢者マークをつけています。高齢者マークを付けていても、車を運転しなければ、交通手段がないからでしょう。

制限速度五〇km/hの道は、四〇km/hの、のろのろ運転です。筆者の車は、ついて行くのにブレーキを踏まない、と、追突しそうな速さ



置で停車です。筆者の車がいるにもかかわらず、そのお婆さんは、墓しぼを持って、お寺に入っ行って行くではないですか。

#### 過疎地の交通実態

#### 孤立化が進行

その間、一〇分位時間が経過しましたが、他にも、二・三台、車が立往生しています。田舎の人ですね。文句一つ言わず、一〇分間じっと待っていました。

これが、過疎地の交通の実態です。更に進むと、交通手段に頼れなくなり、孤立化が進行するのです。筆者の将来像の反映でもある

## 第1回 北九州小規模連

十月二十六日(火)北九州パレスにおいて、第一回北九州小規模連利用者交流会が開催されました。

平日にもかかわらず、市内の小規模作業所から、百五十名余の利用者と各事業所の職員が参加しました。「さわやか」からは、四人の職員がボランティアの補助員として参加しました。この活動は、小規模連の支援員委員会が計画したもので、小規模連の紹介や、

## 利用者交流会開催



各事業所の紹介を行いました。昼食も、作業所で作られたお弁当を皆でいただきました。午後からは、歌やゲーム大会で盛り上がり、たくさんのお景品に一喜一憂していました。

今後この交流会は年に一度は行われる予定です。



のです。

長々と、交通事情を記しましたが、全国どこでも、このような状況が生まれていくのです。この問題を解決するのに、それぞれの市町村では、タクシー形式の乗り合いバスを町が補助して運行するとか、デマンド型(需要応答型)の地域交通が出来て来いています。STS型(障害者移送サービス)が、福祉有償運送を通じて行われています。

#### 地域公共交通確保

#### 維持改善事業の創設

国土交通省は、来年度概算要求に、移動の保障を目指す「交通基本法(仮称)」の規定を見据え、従来の倍額となる、四五三億円の「地域公共交通確保維持改善事業」(生活交通サバイバル戦略)の創設を求めています。

この新事業は、「全国どこでも誰もが移動手段の確保が可能となる社会の実現」

を一体的に行うために、従来の地域公共交通・再生総合事業や地方バス、バリアフリー化整備などを統廃合・補強し、デマンド交通等の「地域公共交通確保事業」と福祉タクシー車両の促進などを含む「地域公共交通バリア解消促進」、「地域公共交通調査」の三事業を柱に編成されています。

#### 財務省原案として

#### 予算化

この概算要求は、今後、財務省が査定し、政府税制調査会や財政制度審議会の答申も行われながら、十二月末を目途に財務省原案として予算されて行くこととなります。

北九州市では、これに先立ち、まちづくりネットワークのためのユニバーサルデザインの作製に取り組んでいます。

その中で、障害者の移動手段についても検討されています。「さわやか」が行っている、福祉有償運送についても、もっと簡便で利用しやすいもの、通院以外の移動にも利用できるものを目指して検討をすすめています。

(全国腎臓病協議会「はーと なび」より一部引用)



## 国民が互いに感謝し合う

### 勤労感謝の日 (新嘗祭)

勤労感謝の日は、十一月二十三日で、日本の国民の祝日の一日です。

#### 勤労感謝の日って？

昭和二十三年に、「勤労を尊び、生産を祝い、国民が互いに感謝し合う」ことを趣旨として、新憲法のもとに制定された国民の休日の事。旧憲法ではその年の収穫を祝う、宮中の新嘗祭にちなんで休日とされていきました。

#### 新嘗祭とは

天皇がその年に収穫された新穀を神に供えて感謝し、神と共に初めて新米を召し



上がる儀式です。

「新」は新穀を、「嘗」はご馳走を意味します。神膳には、その年の新穀から作った米、粟のご飯と粥、白酒、黒酒が供えられます。

#### 新嘗祭と新米

新嘗祭の日には、新嘗祭で神に新米をお供えし終わってから、新米を食べるといいうのがならわしです。

農耕民族の日本人にとって、この日は新年を迎えるに等し

#### おばあちゃんの知恵袋

### 民間療法のいろいろ



昔からの人の体験と試みで出来上がった、これらの伝統ある療法を実生活の中で生かし、健康の手段として大いに活用いただきたいと思えます。

#### 風邪の引き始めで頭痛と

#### 寒気の時の民間療法

##### 《ネギ、シヨウガ湯》

ネギの白根十五グラムと



い大切な日だったので、その年の新米は、新嘗祭が終るまで誰も食べませんでした。

#### お米への感謝を！

日本は古くから「瑞穂国」と呼ばれていたように、かつては農業が日本の社会の基礎になっていました。

その収穫の感謝と祈りが「新嘗祭」であり、やがて勤労感謝の日になりました。

皆さん、農業に携わる人

の数は減りましたが、懸命に働く人の心は昔も今も同じです。

エネルギーの源であるお米への感謝も忘れずにしましょう。

また、勤労感謝の日の「勤労」は、もちろん農業だけを意味しているのではありません。

もつと幅広く、全ての職業・職種を超え、日々の生活へ取り組む姿勢をも含めたものだと思います。

「勤労感謝の日」は、勤労によって生み出された生産物を祝い、意義ある生活を送っている事にみんなが感謝をする日です。

【おうち歳時記他、インターネットより抜粋】

ながらかき混ぜ、食べます。のどが痛い時の

#### 民間療法

##### 《大根アメ》

大根を輪切り、さいの目に切ったものに水飴や蜂蜜をかけておくと大根がしぼんで透明な液体が出ます、大根を取り出し液体を飲みます。

##### 《黒豆》

黒豆と、砂糖または黒砂糖を加えて煎じます。煎じた汁を飲むとせきどめ、またはのどの痛みにも有効です。

#### 民間療法

##### 《タマネギのみそ湯》

タマネギを五分の一ほど細切りにし、みそ小さじ一杯、蜂蜜小さじ一杯とともに茶碗に入れ、熱湯をさして全部を温かいうちに飲みます。

##### 《卵酒》

日本酒一カップを熱燗にし、卵一個を割り込んで砂糖小さじ一〜二杯を加えてかきまぜて寝る前に飲みましょう。

##### 《シヨウガくず湯》

まず本クズ粉に熱湯を注いでクズ湯を作ります。カップ一杯分にシヨウガひとかけらをおろし入れ大さじ一杯の蜂蜜を加え熱いうちに飲みます。

【インターネットより抜粋】